

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

施設	かながわアートホール
指定管理者	公益財団法人神奈川芸術文化財団
指定期間	H21.4.1 ～ H27.3.31
施設所管課	文化課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 事業面においては、第33回カジュアルコンサートを神奈川フィルハーモニー管弦楽団と連携して実施するとともに、普段のコンサートでは鑑賞機会の限られる親子連れも対象とした「キッズコンサート」を開催し、多くの方に来場いただいた。また、所蔵のDVD等を活用した「音楽がいっぱい」コンサートを月に1回程度開催し、身近に音楽を鑑賞・体験できる環境の提供に努めている。</p> <p>維持管理業務面においては、スタジオ等の照明のLED化、ホール舞台装置のインバータの更新など、省資源化を図るとともに、開館20周年が経過し老朽化が進みつつある設備の細かな修繕を実施するなど、適切な対応を行っている。</p> <p>上記のことから、B評価とした。</p> <p>< 2 収支状況 > 舞台装置の更新や照明工事など、施設修繕工事が日程調整の関係で、下半期に集中して行ったため、支出が上回り、収支状況は、C評価となった。</p> <p>なお、年間を通じた収支状況は、ほぼ計画額どおりとなっている。</p> <p>< 3 利用状況 > 多くの方に施設が利用されたが、昨年度に比べ、今年度は、演奏の録音などの利用が増えたため、利用者数が目標対比で約5.2%のマイナス、前年度対比では、約6.8%のマイナスとなり、C評価となった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 12月に利用者満足度調査を実施し、上位2段階の回答割合が66%となったため、B評価となった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > いくつかの要望が寄せられたが、適切な対応を図っていることから、B評価とした。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 事故等が発生していないため、B評価とした。</p> <p>< 今後の方針等 > 「キッズコンサート」の入場を0歳児可とするなどの工夫を凝らしているが、引き続き、多様化する利用者ニーズを把握し、対応を図るとともに、インターネットや地域紙など、様々な媒体で広報を実施するなど、利用者への情報提供、サービスの向上に努められたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	事業の実施：神奈川フィルハーモニー管弦楽団の魅力ある公演を実施し、県民サービスに努める。	<p>3月2日(日)に第33回カジュアルコンサート(第2)を開催。神奈川フィルハーモニー管弦楽団メンバーによる室内楽の公演を無料で実施し、雨天の中、260名が来場した。(応募総数697名。当選者は400名。当選倍率1.7倍)</p> <p>アンケートでは、「このような機会を増やしてほしい」等の声が寄せられ、大変好評であった。</p> <p>※第33回カジュアルコンサート(第1)は、5月11日(土)に実施。131名が来場。</p>

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	利用率の向上へ向けた取組：リピーターを増やすとともに、積極的な販売促進活動で新規顧客開拓を行う。	私鉄沿線の車両内や、クラシック音楽情報誌など、様々な媒体で積極的に広報を実施するなど、利用者への情報提供を行い、ホール利用率:約91.3%、スタジオ利用率:約85.1%と高い利用率で推移している。
3 (指定管理業務)	音楽情報コーナーで保有しているDVD等の活用：抽選後で利用希望がなかった日を中心に定期的に「音楽に包まれる一日」として、ホールを利用し専門の音響機器で楽しんでいただく。	誰でも利用できる「音楽・舞踊情報コーナー」を継続して運営し、CD・DVDを無料で閲覧、視聴できるものとした。 また、所蔵のDVD等をホール空間で楽しんでもらう催し、「音楽がいっぱい」コンサートを月に1回開催した。 ◆「音楽・舞踊情報コーナー」下半期利用者数248名（CD・DVD視聴者および図書閲覧者） ◆「音楽がいっぱい」コンサート参加者数144名
4 (指定管理業務)	環境配慮への取組：省エネルギー等の管理活動を積極的に進める。	第1スタジオ高所の蛍光灯と正面玄関上部ホール名を照らす（夜間照明）をLED化。省エネに努めた。

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月8日		○	—	○	無	
11月	12月10日		○	—	○	無	
12月	1月10日		○	—	○	無	
1月	2月10日		○	—	○	無	
2月	3月10日		○	○	○	無	キッズコンサート（2月23日（日））をモニタリング。
3月	4月10日		○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 C

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）				支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		うち納付金	
募集時の県積算額 (参考)		—	—	—	122,725※	122,725※		0
年度計画	前年度	105,060	16,220	4,500	125,780	125,780	0	0
	上半期	48,936	7,838	2,348	59,122	59,122		0
	下半期	56,124	8,382	2,152	66,658	66,658		0
	今年度	105,506	16,490	4,750	126,746	126,746	0	0
	上半期	49,868	8,246	2,370	60,484	60,259		225
	下半期	55,638	8,244	2,380	66,262	66,487		▲ 225
通年実績	上半期合計	49,868	8,161	2,705	60,734	48,864		11,870
	対収支計画比	0.0%	▲ 1.0%	14.1%	① 0.4%	② ▲ 18.9%	③	19.7%
	10月	9,273	1,182	475	10,930	10,564		366
	11月	9,273	1,298	476	11,047	8,052		2,995
	12月	9,273	1,109	25	10,407	16,988		▲ 6,581
	1月	9,273	908	446	10,627	12,603		▲ 1,976
	2月	9,273	1,105	430	10,808	8,645		2,163
	3月	9,273	1,380	4,858	15,511	24,346		▲ 8,835
	下半期合計	55,638	6,982	6,710	69,330	81,198	0	▲ 11,868
	対収支計画比	0.0%	▲ 15.3%	181.9%	① 4.6%	② 22.1%	③	▲ 17.9%
通年合計	105,506	15,143	9,415	130,064	130,062	0	2	
対収支計画比	0.0%	▲ 8.2%	98.2%	① 2.6%	② 2.6%	③	0.0%	
参考	前年度 下半期実績合計	56,336	7,371	4,783	68,490	73,145		▲ 4,655
	対前年度 下半期実績比				1.2%	11.0%		

※その他収入の内容 立替収入、雑収入等

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	×	×	×	
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	○	×	日程調整の都合上、下半期に舞台インバータ更新等の大きな工事が集中したため。
③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比）	×	○	×	日程調整の都合上、下半期に舞台インバータ更新等の大きな工事が集中したため。

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
 基本協定において、県が負担することとしている修繕費等： 100万円以上

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期	4,735	屋上防水工事
合計	4,735	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 C

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

- 目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で
- A : 105%以上
 - B : 95%以上～105%未満
 - C : 85%以上～ 95%未満
 - D : 85%未満

- 入所施設等定員がある場合、定員比で
- A : 100%
 - B : 90%以上
 - C : 80%以上
 - D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	4,399 人	4,441 人	99.1 %
11月	3,988 人	4,094 人	97.4 %
12月	3,960 人	4,660 人	85.0 %
1月	2,948 人	3,953 人	74.6 %
2月	3,813 人	4,270 人	89.3 %
3月	4,821 人	4,283 人	112.6 %
合計	23,929 人	25,701 人	93.1 %

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
下半期計	23,929 人	25,701 人	25,250 人	① 94.8 %	② 93.1 %
上半期計	26,201 人	24,996 人	25,250 人	① 103.8 %	② 104.9 %
合計	50,130 人	50,697 人	50,500 人	① 99.3 %	② 98.9 %

※目標値の設定の有無

期間	設定している	その他の場合の期間
基準	通年 指定管理者提案値	その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	[参考] 上半期	下半期	通年	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	×	昨年度はピアノ発表会等、数百名での利用が多かったが、本年度は録音利用など数名での利用が多かったため、目標利用者数等より下回った。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)	×	○	×	

<参考>

施設の最大利用可能人数

	ホール	第1スタジオ	第2スタジオ	第3スタジオ	第4スタジオ	第5スタジオ	合計
定員(1日あたりの延べ人数)	300	-	-	-	-	-	300
年間利用可能日数	321	344	344	344	344	344	344
最大人数	96,300	0	0	0	0	0	96,300
半期	48,150	0	0	0	0	0	48,150

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

6 事故・不祥事等

評価

B

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		